

## I ベビーカー利用の現状と課題

- ✓ バリアフリー化の進展に伴い子ども連れでの外出が増加してきた結果、公共交通機関等におけるベビーカー利用に関するトラブルや意識の差などが顕在化
  - ✓ 交通事業者等の取り組みやベビーカーマークも、統一的な取り扱いではなく、事業者独自のものが多い
- 「安全な使用」「ベビーカー利用への理解・配慮」の2つの課題に応え、ベビーカーを利用しやすい環境づくりを整備するため、「ベビーカー利用にあたってのお願い」及び「ベビーカー利用に配慮する統一的なマーク」について定めることが適当

## II 「ベビーカー利用にあたってのお願い」と関係者の取り組み

「子どもの安全を守る」「子育てしやすい環境をつくる」ために、利用者及び関係者が自主的に取り組むことをお願い事項として整理

### ① ベビーカーの安全な使用 [チラシ等により周知]

- ベビーカー使用者に対し、子どもの安全を守るためにベビーカーの使用法で心がけてもらいたいことを整理(シートベルト着用、ストッパーによる固定、子どもを降ろしてのエスカレーター利用 等)
- ベビーカー販売時や駅、商業施設等で配布

### ② ベビーカー利用への理解・配慮 [ポスター等により周知]

- ベビーカー使用者及び周囲の方の双方に対し、快適に利用してもらうため、お互いに理解や配慮をしてもらいたいことを整理(周囲の方の気遣い・見守り・手助け、周囲に配慮した操作 等)
- 駅、バス、商業施設等に掲示

### ③ 関係者の取り組み

- 交通事業者・施設管理者等が、様々な利用者にとって移動しやすい環境を整備するために取り組むべき事項を整理(エレベーターを利用しやすい環境の整備、車椅子スペースの活用、事故防止のための取り組み 等)

## III 統一的なベビーカーマークの作成

「お願い」に盛り込んだことを視覚的に明示するために、統一的なマークを選定

### ① 案内図記号

- ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示(エレベーター、鉄道やバスの車椅子スペース 等)

### ② 禁止図記号

- ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示(エスカレーター 等)

## IV 今後の普及・啓発

協議会構成員は、広く国民や利用者に対し、広報・周知活動を実施

- ポスターの掲示、チラシの配布、ベビーカーマークの掲出
- キャンペーン、イベントの実施 等